

地元信用金庫の情報力を活用！！

委託法人名 (代表者名)	財団法人 神戸市産業振興財団 理事長 森脇 俊道	所在地	兵庫県神戸市中央区東川崎町 1丁目8番4号
契約名	平成20年度	信用金庫グループ主導のインフラとしての川上・川下ネットワークの構築	
	平成19年度	信用金庫グループとの連携を活かした川上・川下ネットワーク構築事業	
	平成18年度	地元信金と広域VC会社との連携を活用した川上・川下ネットワーク構築事業	

1. 事業内容と完了後の取組内容

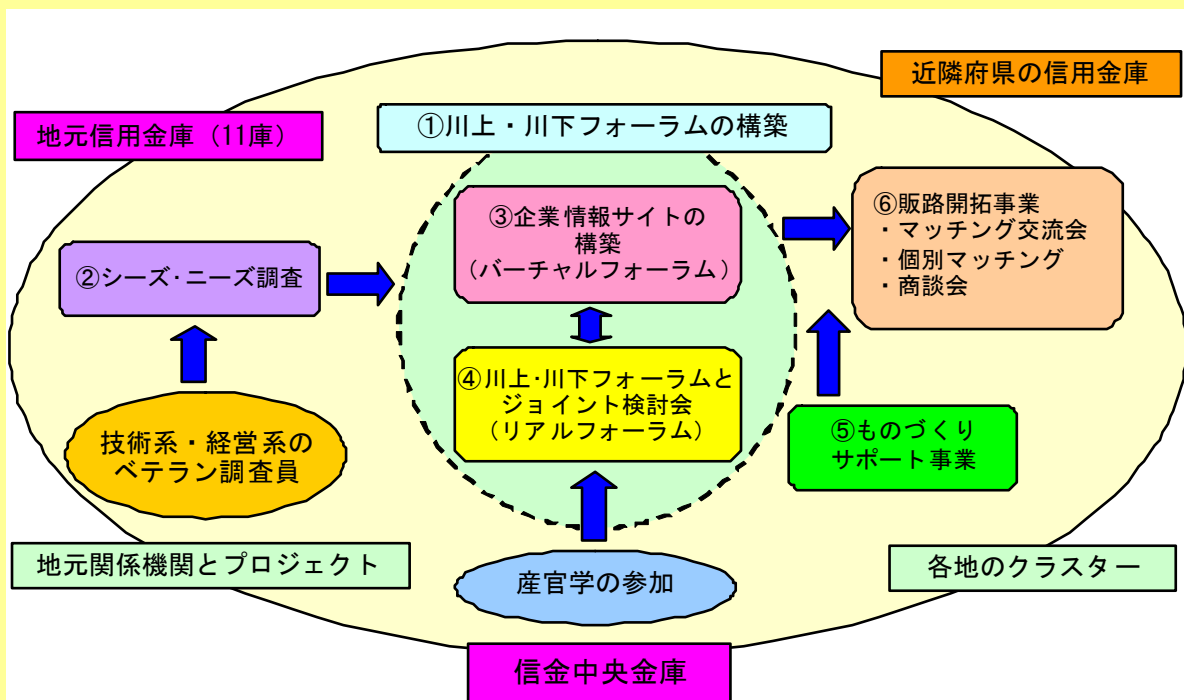
◆事業内容

平成18年度は、まず事業運営に必要なフォーラムの立上げのため、川上・中小企業と川下・大手企業の参画推進を中心に活動した。そしてフォーラム作りのため商談会、プレゼンテーション会、ものづくりセミナー等を開催した。

平成19年度は「信用金庫グループとの連携を活かした川上・川下ネットワークの構築事業」として、兵庫県下本店所在の11金庫全てが参画した。フォーラムの構築、各種イベント等を引き続き実施し、「シニアアドバイザー会議」を設置した他、川下・大手企業のニーズプレゼンテーションを行うとともに「ビジネス商談会」を実施した。

平成20年度は「信用金庫グループ主導のインフラとしての川上・川下ネットワークの構築」をテーマとして、兵庫県下11金庫と信金中央金庫の主導的活動とネットワークの自立化を目指した。また、過去の活動を踏まえ、マッチング等の成果創出に主眼を置いた。

事業概略図



◆完了後の取組

平成 21 年度以降、中小企業基盤整備機構から自立した事業運営を見据え、信用金庫が主導する場として「川上・川下ジョイント検討会」を設置し、取組みを続けている。

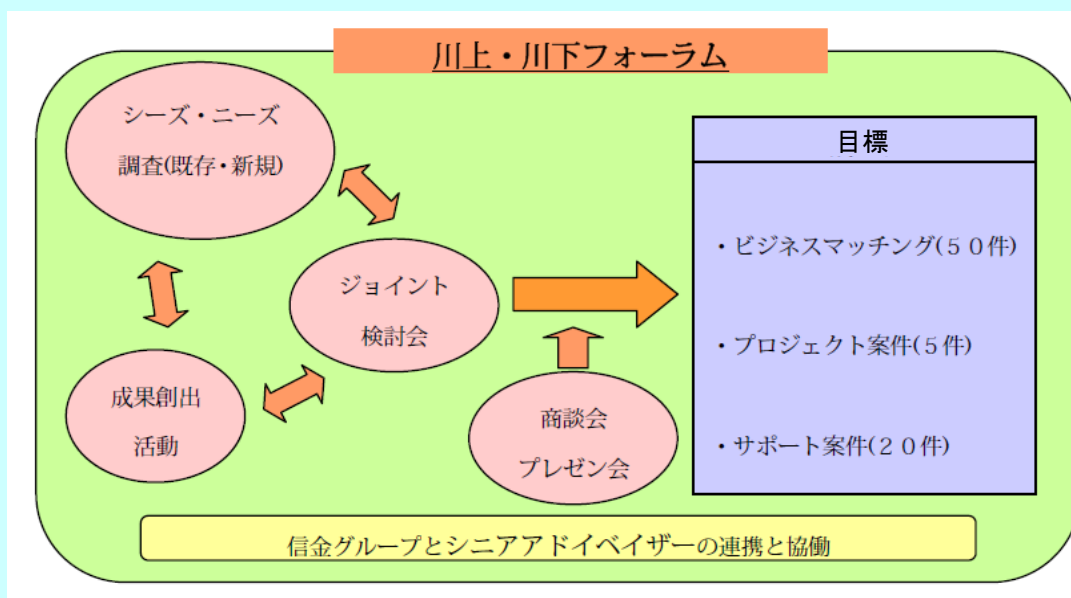
2. ジョイントコーディネータの活動・成果

◆活動と成果

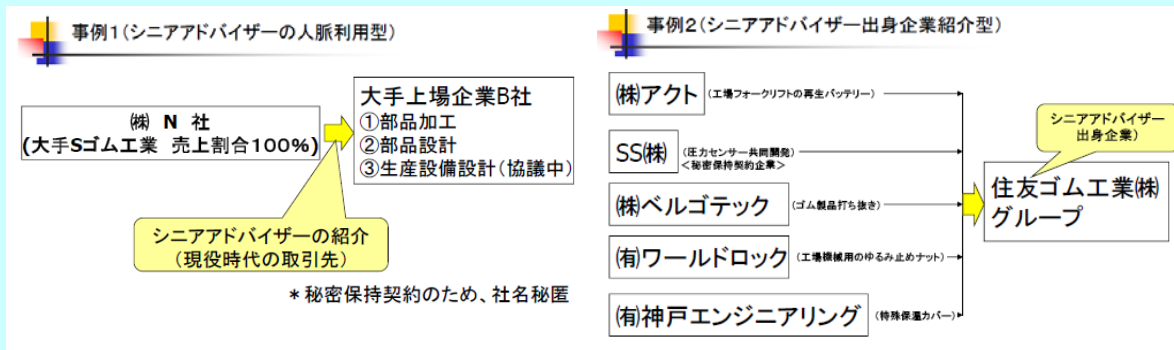
本事業では、信金の持つ膨大なシーズ情報をマッチングに結び付けるため、大手企業の OB 技術者を「シニアアドバイザー」として配置し、マッチングの精度を高めている。平成 20 年度までにマッチング 32 件、プロジェクト案件 8 件、サポート案件 18 件の成果を得た。

☛ 地元信用金庫の豊富な情報がマッチングのための情報源に活かされている

☛ ジョイントコーディネータに大手企業 OB 技術者を採用しているが特色



ジョイントコーディネータ（同財団の呼称はシニアアドバイザー）の成果事例



3. 具体的な成果や波及効果

◆具体的な成果

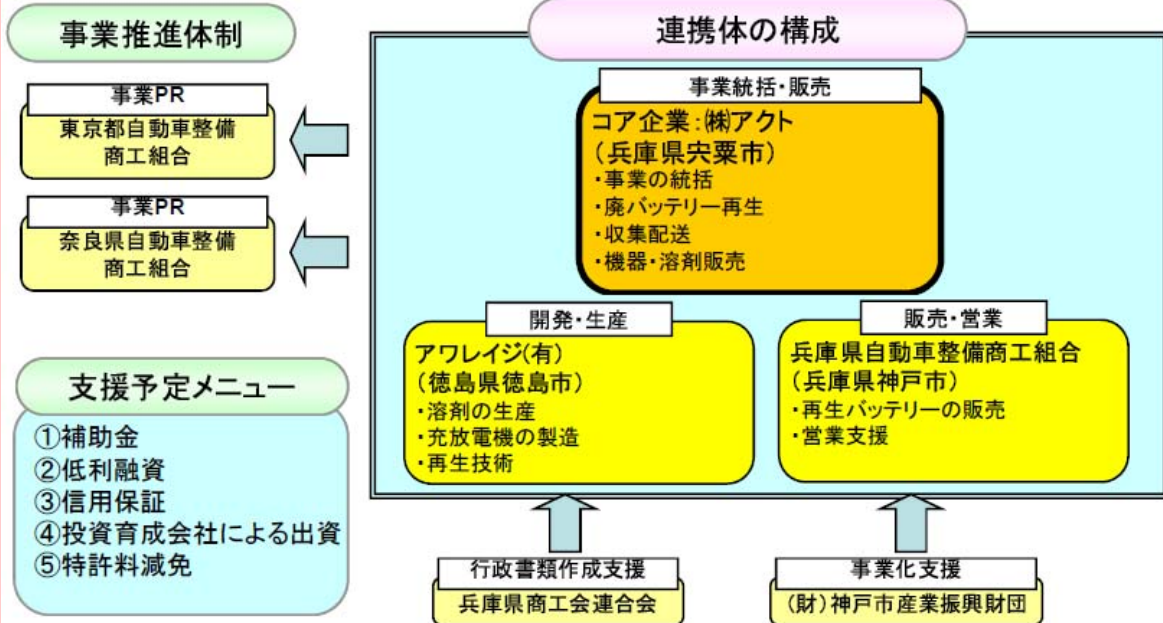
地元信用金庫のネットワークによる強力なサポートにより、有力な案件が立ち上がりつつあるが、全国的に注目されている「バッテリーのリユース事業」について示す。

成果事例： 「バッテリーのリユース事業」事業概要

事業名： バッテリー再生効果を持つ溶剤と特殊充放電機による廃バッテリーのリユース事業

○事業概要(新規性、市場性等)

- ・特殊溶剤「ラスロンG」と特殊充放電機を用いたバッテリー再生技術により、使用済みバッテリーを再生・販売する直轄再生事業と、再生事業者に機器と溶剤を販売する事業を行う。
- ・新しい再生技術は、バッテリー劣化の原因となるサルフェーション(結晶化硫酸鉛)のみに対し、充電時の電位差を利用し元の鉛と硫酸に戻すことでバッテリー再生を実現する。
- ・本方式は、バッテリーの極板に影響を及ぼすことなく再生でき、加えて充放電機は10チャンネル・20チャンネルを有するため、短時間で多型式バッテリーを一度に再生することを可能にする。



4. 成果普及の取組、成功にむけた工夫・ポイント等

信用金庫、川上・川下企業、各種支援団体による広域情報の収集等フォーラムを3年間で11回開催した他、川上・川下企業の情報を元にマッチングに結び付けるためのシーズ、ニーズ調査を実施し、そこで発掘した優れた技術を持つ企業を中心にプレゼンテーション会を4回(58社が実施)、商談会・販路相談会4回、セミナーを5回開催した。

また、組織の中核をなすシニアアドバイザー会議を平成19年度より毎月開催している他、マッチング交流会を2年間で3回開催する等きめ細かなサポートを継続している。



平成 21 年度に開催された商談会の様子



平成 21 年度 招待講演会場の風景



シニアアドバイザー会議の様子

－ ワンポイントアドバイス －

- ❖ 公的支援事業の民間への事業継続を実現している（兵庫県信用金庫協会が資金提供）
- ❖ 信用金庫と言う地元密着型金融機関の情報力をネットワーク化により最大限に活用できている。
- ❖ 地元で活動する信用金庫は日頃の取引を通じて川上・川下企業の両方の情報に通じていることに加え、マッチングに際しても「目利き」力が高いと見られ、当該事業の実施に際して強い味方になると考えられる。一方、地元信用金庫にとっても都市銀行との差別化の意味で、魅力が有ると見られる。
- ❖ 当該事業は息の長い取組みが必要とする意見が多いが、運営資金の確保が重要であり民間からの資金提供の道をつけたことは、今後の継続に向けて大きな力であろう。